

「日本税関の歌」とその時代

～税関再開と貿易復興の歴史～



◆ 税関の歌（歌詞）

日本税関の歌

西條 八十作 詞
古賀政男 作曲及編曲

一、ながれる雲よ 舞うかもめ

海の路 空の路

新たに興る 日本の

栄をきずく 前衛われら

あゝ 税関の朝風に

希望かがやく ユニフォーム

二、迎えて送る エトランジェ

笑み交わす 愛の花

国運になう 貿易の

正しき行手を 示すはわれら

あゝ 税関の夕月に

重き使命の 六つボタン

三、賑わうピアよ 滑走路

空超えて海越えて

伸びゆく平和 日本の

未来の鍵を 握るはわれら

あゝ 税関の旗の下

勢うわれらの 胸が鳴る

（参考）

エトランジェ「étranger」…ある国へ他国からやってきた人

（出所）精選版日本国語大辞典

◆ 税関の歌（誕生の経緯）

- ✓ 昭和26年、税関再開5周年を記念し制作を企画（日本関税協会）
- ✓ 税関関係職員等から募集・審査するも、1等該当作品無し
- ✓ 審査員であった西條八十氏、古賀政男氏らの手により誕生



◆ 税関の歌（予備知識）



	西條八十氏（作詞）	古賀政男氏（作曲）	藤山一郎氏（歌）
出生	✓ 1892年 東京都	✓ 1904年 福岡県	✓ 1911年 東京都
経歴	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 戦前～高度成長期に童謡から流行歌まで幅広く作詞 ✓ 多数の童謡を雑誌で発表し北原白秋と並び称された 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日本作曲家協会初代会長（日本レコード大賞を制定） ✓ 没後、国民栄誉賞受賞（音楽家として初） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 第1回NHK紅白歌合戦白組キャプテン・大トリ ✓ 国民栄誉賞受賞
代表曲	<ul style="list-style-type: none"> ✓ かなりあ（童謡）、肩たたき（童謡）、東京行進曲、東京音頭、青い山脈、越後獅子の唄、王将、絶唱、ぼくの帽子 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 影を慕いて、酒は涙か溜息か、丘を越えて、サーカスの唄、東京ラブソディ、人生の並木路、人生劇場、湯の町エレジー、無法松の一生、柔、悲しい酒 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 酒は涙か溜息か、丘を越えて、東京ラブソディ、青い山脈、丘は花ざかり

◆ 税関閉鎖・再開の経緯

太平洋戦争 (1941年12月～)	<ul style="list-style-type: none">✓ 貿易縮小(米・英の圧力強化により、東亜共栄圏の中に限定)✓ 軍需資材(武器等)や食糧が不足する中、輸送手段としての海運を重視
海運行政一元化	<ul style="list-style-type: none">✓ 戦時海運行政を一元的に運営する機関(海務局)が設置され、税関の港務関係業務(港湾管理、検疫)が海務局へ移管(1941年12月)✓ 戦時海運管理令施行(1942年3月)
関税法戦時特例 (1943年5月施行)	<ul style="list-style-type: none">✓ 軍需資材輸送促進を目的とした、通関手続の簡素化、船舶取締りの緩和等の措置を実施
税関閉鎖 (1943年11月)	<ul style="list-style-type: none">✓ 税関業務・人員・施設等全てが海運局(旧海務局)に併合
終戦 (1945年8月)	<ul style="list-style-type: none">✓ 海運局の下、引揚者に対する旅具検査、為替管理事務、検疫に従事✓ 戦後の混乱に乗じた密輸が横行し、GHQから取締りの指令有✓ 商工省に「貿易庁」設置(1945年12月)、管理貿易を実施
税関再開 (1946年6月)	<ul style="list-style-type: none">✓ GHQから税関再開の指令有✓ 再開するも、施設と港務関係業務は税関に返還されず、職員は大幅に減少

◆ GHQ統治下の日本で作られた花瓶 (Vase Made in Occupied Japan)

- ✓ GHQは全ての輸出製品に「MADE IN OCCUPIED JAPAN (占領下日本製)」の表示を義務付け(1947年2月)



名古屋税関
広報展示室収蔵

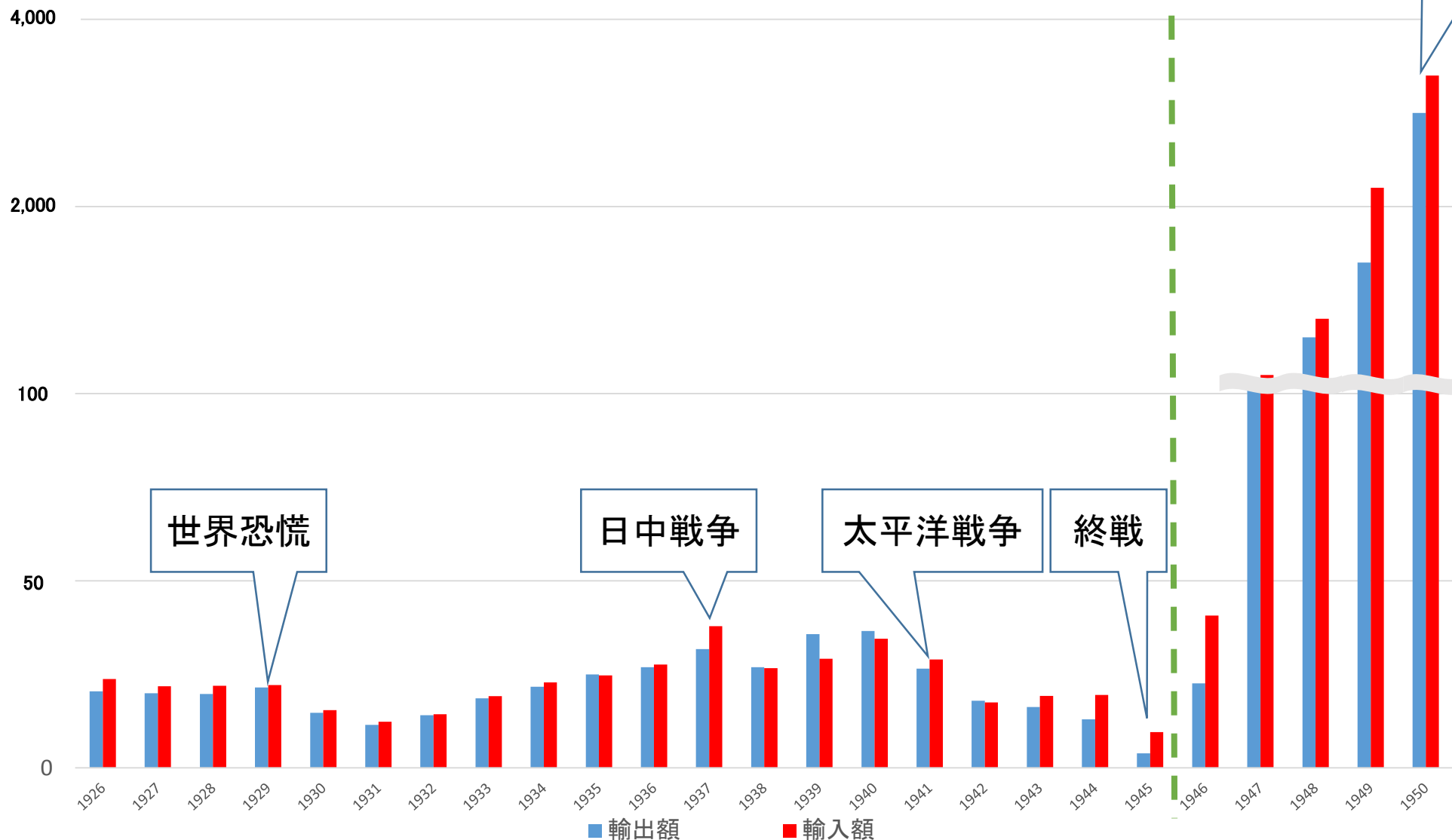
花瓶の裏底



愛知県瀬戸市に
所在していた陶器
製造会社

◆ 輸出入額推移（昭和の始まり～税関の歌誕生）

輸出額、輸入額
【単位：億円】



(注) 1946年以降の輸出入額は新円切り替え後のものであり、参考値として計上。

(出所) 財務省「貿易統計」

◆ 20世紀前半～中盤の世界情勢等

世界

世界恐慌
(1929年)

第二次
世界大戦
(1939年)

国際連合
設立
(1945年)

GATT
発足
(1947年)

サンフランシスコ
講和条約
(1951年)

キューバ
危機
(1962年)

税関

名古屋
税関独立
(1937年)

税関閉鎖
(1943年)

税関再開
(1946年)

税関の歌
誕生
(1951年)

小笠原返還
税関官署設置
(東京税関)
(1968年)

沖縄返還
9税関
体制へ
(1972年)

日本

満州事変
(1931年)
五・一五
事件
(1932年)

二・二六
事件
(1936年)
日中戦争
(1937年)

太平洋
戦争
(1941年)

民間貿易
一部再開
(1947年)

民間貿易
全面再開
(1950年)
朝鮮戦争
(1950年)

GATT
加盟
(1955年)

東京オリ
ンピック・
IMF8条
国移行
(1964年)

航空関係

航空
禁止令
(1945年)

国内線
運航開始
(1951年)

国際線
運航開始
(1954年)

海外渡航
自由化
(1964年)

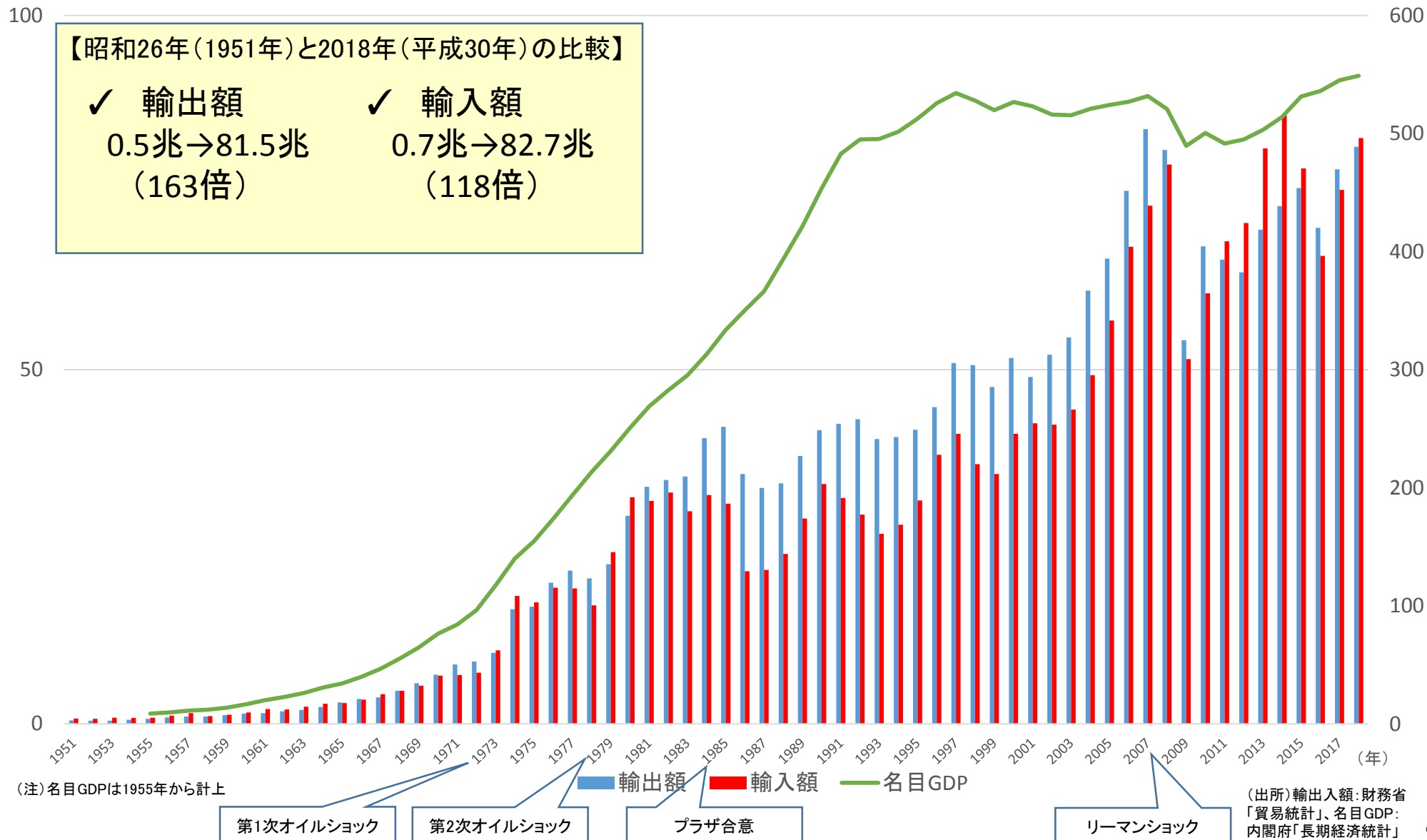
終戦

◆ 輸出入額、名目GDP推移（税関の歌誕生～現代）



（左軸）輸出入額
【単位：兆円】

（右軸）名目GDP
【単位：兆円】



◆ 外国貿易船（機）、入国旅客数（税関の歌誕生時と現代との比較）

時期	外国貿易船入港隻数(トン数)	外国貿易機入港機数	入国旅客数(うち、外国人 ^(注2))
税関の歌誕生 (1951年)	4,032隻 (1,445万トン)	4,454機 ^(注1)	40,245人 (24,268人)
	26倍 (72倍)	65倍	1,223倍 (1,240倍)
現代 (2018年)	104,930隻 (10億3,373万トン)	289,262機	49,202,924人 (30,102,102人)

(注1) 記録上、外国貿易機の入港機数は1956年から計上されているため、1956年の数値を記載

(注2) 出入国管理統計/港別入出国者表/「外国人」の数値を記載

(出所) 外国貿易船入港隻数・外国貿易機入港機数: 財務省「税関百年史」・「貿易統計」、入国旅客数: 法務省「出入国管理統計」

◆ 税関定員、入国者数の推移

